

🏠 たちあらい

議会だより

No.183

令和6年
6月定例会



特集

議会改革
20年

みなさんの声を
生かすために



みなさんの **声** が生きる大刀洗町へ

議会改革20年

これまでとこれから

20年前、小郡市との合併を問う住民投票で、私たち住民は「合併せず、単独での行政運営」を選択しました。

当時、地方分権や地方交付税の見直しが実施されるも、地方議会の役割もさぐさ問われることになりました。

大刀洗町議会では、「議会本来の役割とは」を考え、できることから議会の活性化や民主化に取り組んできました。



01 これまで

20年前の議会は？

- 条例などの議案はすべて提案されたその日に採決
- 議案に対する議員どうしの討議なし
- 一般質問の発言は最大3回までで、議論が深まらず
- 海外視察あり(ただし半額自己負担)、国内視察は報告書の提出なし
- 報酬と別に費用弁償(日当)あり
- 議会だよりは、議員ごとの賛否は公開せず
- 政治倫理に関する規定なし

20数年前は質問をする議員も少なく議論も深まりませんでしたし、半分観光のような視察もありました。議会で議論を重ね、少しずつ現在の形を作っていました。さらなる躍進を期待します。



花等さん(元議員)

こう取り組んだ

- 地方分権一括法などの実施を受け、議会の機能発揮のための議論を始める
- 全議員で議会改革特別委員会を立ち上げ、先進議会の事務局長も招いて学習会を開催
- 議会基本条例の検討委員会には公募の住民も参加
- できることから、平成23年に議会報告会を始める
- 傍聴の機会を増やすため、土休日に議会(一般質問)を実施

10年間モニターを務め、議会の変化を一番近くで見してきました。当時は住民との対話を嫌がる議員さんもありましたが、最近では全議員が前向きに話を聞いてもらえるようになり、改革の成果を実感しています。



古賀さん(元議会モニター)

議会基本条例を制定(平成26年)

- 年1回以上の議会報告会
- 議会モニターさんを公募、意見交換
- 議員間の自由討議
- 多様な情報手段、情報公開の充実
- 積極的な調査、政策提言

条文ごとに毎年検証し、改善を図っています。



←条例全文はコチラ

政治倫理条例

(平成17年)

- 議員、町長などの資産を公表
- 町が発注する工事と議員の関係を規定
- 政治倫理審査会を設置、必要事項を調査

「住民に開かれた議会に」という、当時の議員の決意を形にすべく、基本条例制定や動画配信に取り組みました。「条例を作るだけでなく、実践が大事」と、現在も報告会などの対話が継続されていることを大変力強く思います。



今村さん(元議会事務局長)

議会改革の

あゆみ

平成16年6月

小郡市との合併を問う住民投票で「合併しない」が多数、単独町制を継続へ

平成18年3月

一般質問を二問一答方式に

平成20年9月

一般質問を土休日に開催(平成29年まで実施)

平成23年3月

議会改革特別委員会を設置、委員会の日当(費用弁償)を廃止

自由討議の充実



従来の議会制度では議員どうしの討議の場が少ないことを踏まえ、すべての議案に対して議員の自由討議を実施しています。予算や決算の委員会でもおこない、行政への提言に結びつけています。

こんなことが前進

- ・討議を踏まえて最終日に再度質疑をおこない、予算の修正や議案の否決、不承認なども
- ・予算や決算委員会では、討議を踏まえて委員長報告をおこない、行政へ提言と改善を求める

👉 6月議会の自由討議は 11ページへ

積極的な政策提言



各種団体との懇談や報告会のご意見をもとに委員会で調査し、行政へ提言書を提出しています。

委員会は年間の活動計画を策定して予算要求をおこない、先進地視察は報告書を作成し、町政の改善に生かすよう議論を重ねています。

👉 今期の委員会レポートは 22ページへ

毎年の議会報告会

平成23年から毎年度開催し、今年で14回目になります。

当初は議会からの説明がおもでしたが、現在は参加者のご意見を聞くことを重視し、テーブルごとに懇談しています。ご意見はすべて議会に持ち帰り、担当の委員会で調査し、町への提言につなげています。



こんなことが実現

重度障がい児の負担軽減や学校エアコン設置の請願採択、防犯灯の設置推進などが前進しました。

また、ご意見を一般質問や委員会調査につなげています。



これまでの回答はコチラ↑

👉 今年の報告会は 8ページへ

議会モニター制度

基本条例制定と同時に制度を開始し、今年度は6期目の皆さんが就任しました。

現在は、年4回、議会ごとに全議員と意見交換を実施しています。

こんなことが前進

- ・議会報告会は、報告主体からご意見聴取主体の運営に改善
- ・言いっぱなしではなく、継続的な議会活動に
- ・本会議での積極的な資料活用や、机付きいすの設置、議案書の貸し出しなど

👉 今回の懇談は 20～21ページへ

ひと昔前と比べて、最近
は質疑や討論が活発になり、
住民にとってもいい傾向だと思
います。今後も災害対策など
の緊急の課題への迅速な対
応を期待します。



秋吉さん
(元議会モニター)

「検討する」との答弁を追跡

一般質問で「検討します」「よろしく申し上げます」で終わらず、継続的に調査できるように、町のその後の検討状況を追跡する制度をつくりました。

このような効果が

追跡にもとづき、議員も再度の質問や提言をおこない、長期的な事業の改善がみられるようになりました。

👉 今期の追跡は 20ページへ

すべての会議を公開中!

本会議はもちろん、すべての委員会や自由討議などの会議も公開しています。議場にはない、くだけた雰囲気での議論が見られるかも? お気軽にお越しください。



平成27年3月

基本条例の条文ごとに
実施度を検証
(以降毎年実施)

平成26年4月

基本条例施行、議会モニ
ターを委嘱。モニターは
2年ごとに改選

平成26年3月

・全議案について自由討
議を開始
・「検討する」との答弁に
追跡制度を開始

平成25年12月

総務文教厚生委員会か
ら「こみ行政に関する提
言書」を提出(以降、図書
館運営や地域包括ケア
システム、災害時に関す
る課題などについて、各
委員会から提言あり)

平成25年4月

議会報告会は、対面方式
からテーブルごとの意
見交換に変更

平成24年6月

・議会だよりに掲載
の賛否を掲載
・議会ホームページで会
議録を公開

平成24年2月

区長会と全議員で意見
交換(以降、民生委員、消
防団、交通安全協会、
PTA、公民館政治サー
クルなどの団体と懇談)

平成23年4月

第1回議会報告会を町
内4カ所で開催
(以降毎年度開催中)

みなさんの声を生かすために

こんなことも

議会業務継続計画 (BCP) の策定

災害時や感染症拡大時でも議会が機能するよう、非常時の行動計画や任務分担を策定するものです。

資料のペーパーレス化

現在は議会のたびに大量の紙資料が配布されていますが、今後はデータやスケジュール管理などをデジタル化し、合理的な議会運営をめざします。

先進地を視察し研究中

議会運営委員会では2月に神奈川県葉山町と寒川町を訪問し、議会BCPとペーパーレスの運用について調査しました。BCP、ペーパーレス化とも、今年度中の具体化を予定しています。

全議員で粘り強く協議を重ね、議会活動の改善を図ってきました。これまでの取り組みを後退させず、さらに前進できるように、ルールの明文化や改善に努めます。ぜひご要望をお寄せください。



安丸 議運委員長

議員待遇の見直し

議員の報酬は、24年前よりも低い現状です。日当や議員年金も廃止され、政務活動費や退職金もなく、十分な活動ができるかどうか疑問があります。

「若い人も含めて、多様な世代が議員に立候補できるように」「生活費ではなく、調査や研究にあてる制度を作れないか」など、多様な角度から議論し、皆さんの意見を聞いています。

今期のうちに、改善の提案をおこないたいと考えています。

現在は

議員報酬 月額24万1000円
(一般議員)
政務活動費・議員年金・日当(費用弁償)・退職金…ありません

基本条例の見直し

制定から10年が過ぎ、現在の到達を踏まえて条文の見直しに着手します。

法律が定める事項以外にも、町の重要な計画を議会の議決に追加することなどを検討しています。

政策サイクルの確立、調査・提言の充実

議会報告会やモニター制度、あるいは日ごろの対話など、皆さんからの意見をたくさんいただいています。

議会として、よく議論して町に提言するとともに、事業に反映させたり、実現度を検証するためにさらに政策サイクルの確立強化をめざします。

今後は ご意見への回答を翌年の議会報告会でくわしくお知らせする予定です。



情報のさらなる公開、多様な広報手段の活用

議会だよりの充実と同時に、今後はインターネットなど多様な広報手段との連携が課題です。

今年度はホームページの全面リニューアルを予定しており、公開情報の拡充や親しみやすい動画コンテンツの追加など、多くの皆さんに情報が届くような仕組みづくりに努めます。



これまで多くの会議を傍聴しましたが、本会議よりも委員会の議論のほうが身近で面白いものでした。今後は委員会の開催案内や動画中継を進めていただきたいと思っています。



平城さん (元議会モニター)

令和以降
・傍聴者に議案書を貸し出し
・予算、決算委員会から全会一致の意見をつける
・議会報告会でのご意見について、議会からの重点要望をつけて町長へ提言



平成29年9月
議会報告会でのご意見に対し、議会で調査し公式に回答を作成 (以降継続中)



平成28年4月
議会フェイスブックページ開設



平成28年2月
議会だよりが全国コンクール入選(以降9年連続入賞中)



平成27年12月
議会の録画配信を開始 (生中継は28年3月から)



平成27年4月
委員会条例を改正、広報委員会を常任委員会化し所管を拡大

300件の

声



ただいま調査中です

速報版は
コチラ↓



平成23年に始まった議会報告会も、今年で14回目となりました。4会場で合計113名の方から、300件を超えるご意見をいただきました。

今回は災害などのテーマを定めて懇談しました。ただいま分野ごとに4つの委員会に振り分け、行政への聞き取りなども含めて対応を調査中です。9月に回答を取りまとめ、町政に反映できるよう議員一同がんばります。



議会

- 若い人や子育て世代も議員になれるくらいの報酬を考えるべきでは。
- 政務活動費は、使用目的や領収書などを厳格に運営できれば実施してもいいのではないか。
- 待遇を改善して、しっかり勉強して町政に反映してもらいたい。
- 町村レベルでは専門の議員は必要なく、報酬も現状どおりでよいのでは。

無投票はよくない。選挙で政策を訴えることは大事です。「議員の定数を削減して、その分を報酬に回しては」という意見も多いです。



三原さん(西栄田)

交通や地域

- スクールゾーンがない通学路も多く、危険なので安全対策を急いでほしい。
- 見守り隊の立場が定まっておらず善意に任されているのでは。見守り隊に依存せず、交通ルールの指導を保護者・学校でしっかりとこなうべき。
- のりあいタクシーを使いたいのだが、運転手が足りないせいか、なかなか予約ができず困っている。
- 公園でのスケボーを禁止するのではなく、スケボー場を作って若者を応援してはどうか。

戦後80年近くたち、戦没者慰霊祭への参加も少なくなってきました。土日に開催して広く参加者を募ってはどうでしょうか。



永野さん(西本郷)

災害

- 災害時、エリアメールやLINEなどの情報が他の自治体に比べて遅いのでは。
- 防災無線は大雨時には聞こえない。平時に地域のお知らせなどに活用できないか。
- 避難所が開設されても気を使うので行きにくい。プライバシーの確保が必要。
- 自主防災組織は地域の役員だけではなく、実効性のある組織に。
- 川底の掘削と草木の伐採を。江戸橋下流の浚せつを急いでほしい。
- 調整池の効果は。県の工事らしいが地元で情報が来ない。
- 水害時に田畑に流れ込んだごみの撤去費用がかかり、自己負担が大きすぎる。
- 毎年浸水する地域もある。対応に時間がかかるのなら、まずは補償では。
- 消防団員のなり手不足が深刻であり、待遇や報酬などの改善を。



床上まで浸水した大堰交流センター(令和2年)

初めて参加しました。農業被災などの切実な声を聞き、対応が急務と感じました。大堰は少子化が進んでおり、次回は子育ての議論も期待します。



二ノ宮さん(床島)

環境



本郷の資源回収ステーション

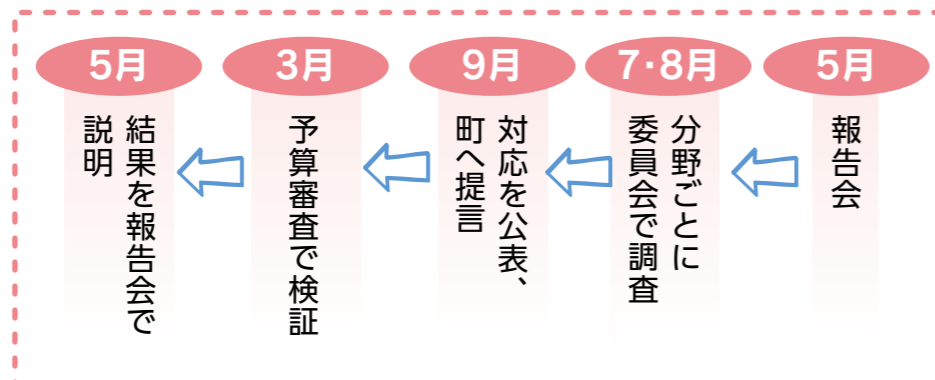
- 校区センターに設置しているめぐるステーションの効果と、今後についての説明をしてほしい。
- いつでも校区センターに資源が出せるようになってとても便利だが、滞在時間が短いのでコミュニティの形成までは至っていない。
- 生ごみを減らすことがごみ削減につながるのでもっとコンポストの普及に努めるべきでは。



今村さん(上高橋)

とても有意義な会議でした。最近住民の要望が多様化しているので、基金を有効活用して柔軟に対応してもらいたいです。

みなさんからいただいた意見は……



今年もたくさんのご意見をいただきました。特に水害対応や交通安全は命に関わるものであり、対策は急務です。少しでも政策が前進するように町への提言を強めます。



高橋議長

入札や契約は適切か議論



6月定例会や7月臨時会では、6件の契約が提案されました。いずれも可決しましたが、入札結果や仕様について、多くの質疑が出されました。

ため池の浚せつ工事(3件)

下流域の洪水や土砂流出被害の軽減を図るものです。町内の業者を対象に条件つき競争入札を実施しました。

- ① 甲条十三塚ため池(1工区) 1億1355万円
- ② 甲条十三塚ため池(2工区) 8635万円
- ③ 本郷琵琶ため池 1億1880万円



工事予定の十三塚ため池

議員

町内に事業所のある業者が対象とのことだが、審査に適合する業者数は。

課長

11業者あり、うち7社ほどが入札に参加した。

議員

セメント系固化材を含んだ浚せつ土の取り扱い。

課長

プラントで改良し、リサイクル資材として新たな建設現場に出荷される。

3件のうち2件は予定価格付近で高止まりしており、住民に説明がつかない。



反対 平山

合計
3億1870万円

就業改善センターを改修

長寿命化改修工事として、壁、床、天井を改修します。一般競争入札を実施した結果、栗木工務店(久留米市)が落札。



改修が始まったセンター

議員

障がい者が利用しやすいように、法律にもとづいて手すりなどを設置すべきと考えるが。

課長

バリアフリー法は床面積が2千㎡以上に適用されるためセンターは対象外だが、地元から要望があれば予算の範囲内で改善できるよう検討したい。

5520万円

プリンタを
29台購入

1059万円

町で使用するプリンタを購入する契約。

議員

メーカーと型番が指定されているが、入札の仕様としては不適切ではないか。

課長

他の機種では町の行政システムに対する再設定が困難となるため、安定動作が保証される機種を指定した。

ドリームセンター
照明改修工事

7128万円

おもに舞台照明を改修しLED化するものです。

議員

かなり高額な契約となるが、LED化による電気料の削減効果は。

課長

舞台照明で約70%の削減効果が見込めるが、ハロゲンランプが生産中止となるために改修せざるをえない点もある。

条例など

地方税の改正

6月からの定額減税の規定などが新設されました。

国民健康保険税の改正

課税額の上限を2万円引き上げることや、低所得者に対する軽減措置が盛り込まれています。

議員 改正による住民への影響はどうか。

課長 課税額の増加が37万円、上限対象は15世帯になる見込み。



反対 平山

税額の小手先の改定では国保の構造的な問題は解決しない。また、町長決裁ではなく議会の議決にかけるべき。

自由討議 // 入札の仕様や条件は？

会期中に全員協議会をひらき、それぞれの入札について議論しました。

昨年に入札の方法が変更になり、その成果や課題についても議論となりました。適正な入札制度のあり方について今後も研究をつづけます。



■公表する範囲は適正か

・建築・土木工事では昨年からの最低制限価格も事前公表しているが、国が発注する工事では公表していない。見直しが必要では。

■競争は成立しているか

・建築工事では4社しか手が上がらず1社は辞退しており、実質的に競争が成立していないのでは。

■土木工事は、最低制限価格を公表しているにも関わらず入札価格が高止まりしており、以前と変わらない。

■メーカー指定などは適切か

・実質的にメーカーが指定される仕様は、官公庁の入札としては不適切では。

■設計段階の精査も必要では

・校区センターのバリアフリーは不十分では。利用者の声を聞くと言うが、そもそも利用者は健康な人が多く少数者の声が反映されない。

一般会計の補正予算では、健康被害の給付金や図書館システムリース料などが追加されました。全体の増加額は1億5千万円あまりです。

また、住民税や国保税の条例改正も提案され、賛成多数で承認しました。

■追加されたおもな予算

	追加額
健康被害救済給付金	4441万円
図書館システムリース料	118万円
町税還付金など	1307万円
システム改修委託料など	8718万円

ワクチン接種の健康被害に給付金

新型コロナウイルスの接種で死亡し、因果関係が認められた1件に対して国から給付金が支払われるものです。内訳は死亡一時金が4420万円、葬祭料が21万円。

議員 死亡事例のほかに、副反応としてどのような症状が出ているのか。

課長 接種後4時間以内に急性アレルギー反応があり入院した事例や、喘息の発作が継続したため、医療機関に入院した事例がある。

4441万円

固定資産税の取りすぎを還付

固定資産税の課税に一部誤りがあり、12件、886万円を取りすぎたことが発覚したため、最長20年間のさかのぼって税と加算金分を対象者に還付するものです。

議員 対象世帯への説明は、再発防止のための対策が必要では。

課長 お叱りもあつたが対象の全世帯から了承いただいた。チェック部門を増員し再発防止に努める。

1307万円

町が出資する団体の経営状況は

町が出資する団体は3団体あります。土地開発公社と(株)たちあらいの代表者は町の副町長で、課長や議員などが理事、取締役となっています。

土地開発公社

現在、公社が所有する土地はなく、現金や資本金が6739万円、町からの長期借入れが7100万円で、差し引きの純資産は▲361万円です。

社会福祉協議会

総事業費は約5億円で、うち大堰、本郷の2つの保育所の運営費が約8割を占めています。福祉分野では、重層的支援として、複数の課題を抱えた家庭などへの支援が強化されます。

(株)たちあらい
(葬祭場)

5年度の葬儀件数は69件で、昨年比7件の増。売上高は5267万円、純利益は383万円でした。

議員 町への寄付金額の算定根拠は。

取締役 売り上げの中から経営に影響がない形で決めており、明確な基準はない。

ギカイの視点

土地売買の損失などもあり、町からの借入金返済ができていない。現在は保有する土地もなく、今後について協議が必要では。

ギカイの視点

保育所の運営を含め、福祉分野もかなり業務多忙と見受けられる。本来は町が直接実施すべき事業も委託されているのではないか。

ギカイの視点

葬祭場の建物は約2億円かけて町が整備し、固定費や減価償却費も町が支払っている。民間の企業であればまったくの赤字では。

私はこう判断

(○…賛成、×…反対) ※議長は採決に加わりません

	松本 照行	古賀 世章	中村 竜博	平田 康雄	實藤 量徳	安丸 眞一郎	平山 賢治	河野 政之	大石 純	白根 美穂	野瀬 繁隆	高橋 直也	会議の結果
令和6年度補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
条例	税条例の改正(専決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
	国民健康保険税条例の改正(専決)	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	-	承認
契約	就業改善センター大規模改修工事の契約 甲条地区十三塚ため池浚せつ工事(1工区)の契約 ドリームセンター照明改修工事契約(7月臨時会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	甲条地区十三塚ため池浚せつ工事(2工区)の契約 本郷地区琵琶ため池浚せつ工事の契約 役場プリンタの購入契約	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	可決



1台のタクシーを借り上げて3カ月の期間限定で運行し、効果を検証する予定です。

のりあいタクシー
夜間の実証運行

現在は午後6時まで運行しているのりあい定額タクシーについて、もっと身近で便利になるよう夜間運行を行うものです。



ひらた やすお
平田 康雄 議員

職員はフルタイムとして採用を

町長 そのつど任用の見直しをしている

町長 会計年度任用職員は、国に準じて条例や規則を定め採用している。職員数は123名で、うちフルタイムは3名、パートタイムは120名、パートに占める割合は55.9%。勤務時間は専務的パートタイムが7時間でフルタイムより45分短い。標準的業務のある職務は、そのつど任用の見直しを行っている。

議員 5年前に町の非正規職員が会計年度任用職員へ制度変更されたが、町の対応は。任用職員数や勤務時間の違いなどは、標準的業務量がある職務は、正職員か、フルタイムとして採用すべきでは。

通学路の安全対策を

町長 グリーンベルトを塗り直す

町長 関係自治体で構成する建設促進期成会で、今後も県道53号線の早期4車線化を要望する。

議員 渋滞対策は抜本的な道路改良が必要だが、大刀洗町だけ遅れている。隣接する市町村と連携して国や県に要望を。



まつもと てるゆき
松本 照行 議員

町長 オープン前後の交通量把握は重要であり、関係する交差点の交通量調査を県に要望する。

議員 コストコ開業にともない交通量の増が懸念される。開業前に交通量調査を実施すべきでは。



町政を問う!

一般質問

会計年度任用職員の職務区分など

区分	勤務時間	職務区分
フルタイム	7時間45分×週5日	一定又は相当の資格、技能もしくは経験などを要する職務
パートタイム	専務的 7時間×週5日又は週35時間	定型的又は補助的な業務を担う職務
	補助的 職務内容により異なる	

町長 報酬は翌年度に見直ししているが、今後は、国の通知や近隣町村の動向などを踏まえ検討する。

議員 人事院勧告を踏まえ、4月にさかのぼって報酬の支払いを。



道も狭いしグリーンベルトも消えかけ

町長 速度落とせの路面標示や警察の速度取り締まりを実施している。消えかかっているグリーンベルトは今年度から順次塗り直しを実施する。

議員 国道500号線の校区内が抜け道となっているが、通学路の安全は。

町長 表彰審査委員会で表彰している町民を表彰できないか。

ボランティアの表彰を

課長 子育て支援関係休暇については、国の非常勤職員に準じた形としているが、近隣市町村の動向を踏まえ検討したい。

議員 子の看護や育児など、子育て支援に関する休暇を有給にできないか。

町長 区長要望に対する予算は増額してきているが、職員体制の制約があり、特に近年は災害対応を最優先としており、計画どおりに実施できなかった。

議員 要望が採択されなかった理由を区長に説明しているか。区民に説明できる資料が必要では。

町長 区長からの要望に増額している。

議員 区長からの要望について、元年度は44%であった施工実績が5年度には25.1%と年々下がってきているが原因は。

議員 職員数は定数より17名も少ない。標準的な業務量のある専務的パートタイムは、フルタイムにすべきでは。

課長 表彰審査委員会で検討したい。

町長 ボランティアは自主的な活動なので把握が難しい面もあるが、表彰審査委員会で検討する。

議員 区長は実施できなかった理由を区民に説明しなければいけないのに、聞かないと教えてもらえないのか。

町長 緊急性や費用対効果などの優先順位により不採択になったものや、逆に追加で採択する場合もあり、理由を示してこなかった。不採択の理由も含め、報告できるかどうか今後内部で検討していく。

映像配信はコチラ

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含めて60分です。



掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。議事録は、議会事務局、各校区センターでもご覧いただけます。



議事録はコチラ





野瀬 繁隆 議員

定住促進住宅の整備を

町長 地元要望を踏まえ 幅広く議論

議員 持続可能な町であり続けるためには、暮らしやすさや住環境の整備が必要と考える。そこで、今まで実績のある定住促進住宅の建設を検討する考えはないか。

町長 町全体では人口が微増傾向にあるが、地域差が生じている。よかまち創生プロジェクトの策定を行うなかで、大堰校区の強みや特性、地域差などを踏まえ計画に反映させていくことを検討する。

議員 大堰校区の人口減少、空き家の増加などへの認識と、今後の対応の基本的な考えは。



富多に建つ定住促進住宅

町長 今後どのような定住促進対策が考えられるのか、大堰校区の人口や子どもの数の予測、地元の要望を踏まえ、スカイラークの2棟目の建設の是非も含めて、人口対策、少子化対策などについて、幅広く議論をしたい。

町長 地域おこしに関する人材育成、実学の促進の寄与を目的とする。具体的には、大刀洗みらい研究所を設置し、町職員や企業社員が研究員となり、新規事業を提供するテーマを設定し、地域での実学の推進や他自治体との広域連携にも取り組む。

議員 慶応大学と連携しながら継続
町長 見直しをくり返しながら継続
議員 たまちづくり支援事業の目的と、具体的な取り組みは。

大学連携事業の検証を

議員のつぶやき 町の課題や将来像を具現化するうえで産官学の連携は重要と思うが、産業界との連携不足を感じる。

町長 業務の多様化など視野の広い職員の育成が求められる。今後も見直しを繰り返しながら継続したいと考える。

議員 研究成果を踏まえ産業界へのアプローチや実用化への取り組みなど事業の検証が必要では。

70周年記念誌を発行しては

町長 今後検討したい



安丸 眞一郎 議員

町長 3村が合併し来年3月末で70周年を迎える。記念式典や記念事業を実施する方向で考えており、具体的な内容は今後検討したい。
議員 記憶に残るだけではなく、記録に残すことも大事ではないか。
町長 記念誌を発行するかどうかも含めて、今後庁内で検討していく。

議員 来年度は町政70周年という大きな節目を迎える。記念式典や各種イベントなどは、町への愛着や町民相互の連帯感がいつそう深まると思うが。

町長 医療機関への受診資格確認書を交付する
議員 マイナンバーカードの発行状況は。
町長 5月末の交付率が76・04%。

議員 来年は終戦から80年。大刀洗空襲の歴史のある当町にとって、地域や学校現場で風化させない取り組みが重要と思うが。
教育長 戦争のない平和な世の中を願う心を育てる教育・啓発などの取り組みを継続することは、大変重要と考えている。



病院でのマイナ保険証受け付け

議員 マイナンバーカードを持っていない方に対する今後の対応は。また、医療機関などへの受診はどうなるか。
町長 休日受付窓口の開設や広報などで周知する。マイナ保険証を持っていない国保加入者などには資格確認書を交付する。

議員のつぶやき 記憶というものは、時間とともに薄れていくもの。記録に残すことは、後世に正確に伝えるため重要なことではないでしょうか。

議員 後期高齢者については。
課長 75歳以上を対象にした後期高齢者医療も同じ制度となっている。☆このほかに、河川などに繁茂する水草の現状と対策について質問しました。

だれでも参加できる体育大会へ

課長 参加しやすい大会になるよう検討



白根 美穂 議員

議員 町民体育大会は住民交流の活性化も目的の一つだと思うが、障がい者もいっしょに競い合えるようなプログラムが盛り込まれていないのでは。
課長 現在実施しているプログラムの中には、障害の程度または状況によっては参加できる内容もあり、当日参加可能な競技もある。
議員 当日でも参加可能な競技があるとしても、誘いがなければ参加しにくい。いろんな方をかけてほしいが。



多様な人が参加できる大会に

課長 今までの声かけで届かないというふうに認識している。障害をお持ちの方にも参加していただけるように、スポーツ交流を進めて声かけの下地を作っていく。今年は従来どおりの形で開催し、反省点を含めて、今後の内容を検討していく。
町長 町内企業の見学会開催を検討中
議員 障がい者雇用について、町はどのような取り組みを行っているか。また町内にある企業との連携はどうか。
町長 個別の企業との連携は十分にはできていない。障がい者雇用に特化した事業ではないが、昨年から町内企業の雇用を促進する取り組みを行っている。今後、障がいをお持ちの方に対しても見学会が開催できないか協議中である。

議員のつぶやき 障がい者雇用率を達成しているだけでなく、積極的な雇用の拡大に努めていただきたい。
議員 法定定められている地方公共団体の障がい者雇用率は3%以上だが、本町の雇用率は。
課長 令和5年6月時点では3・14%で、目標を達成している。



おおいし じゅん 大石 純 議員

4つの徹底した子育て支援を

教育長 給食費の完全無償化は
検討課題

教育長 給食費の完全無償化には約7500万必要で、県や近隣自治体の動向を注視して検討すべき課題と考える。2歳児までの保育料無償化については、

町長 紙おむつの無償供与は考えていないが、出産や子育て支援として妊娠・出産時にそれぞれ5万円の支援を開始している。医療費については支援給付を18歳まで引き上げたばかりで経過を見守りたい。

議員 ①小中学校までの給食の完全無償化、②ゼロ歳児の紙おむつ無償供与、③2歳児までの保育園・幼稚園の無償化、④18歳までの医療費の完全無償化、この4つの早期実現を。

20年前の「何でも値上げ」は是正を

町長 個別に見直しを実施



ひらやま けんじ 平山 賢治 議員

町長 財政は健全化しているが、ふるさと納税の今後が不透明なことや、社会保障費や施設維持費の増加など課題も多く、住民負担については必要に応じて見直しを実施している。

議員 20年前の小泉政権時代、市町村合併と地方の財政削減が強制され、当町でも値上げやサービス削減がすすめられた。ごみ袋は60円となり不燃物は一気に2倍に値上げ。団体補助金の一律削減もこの行革で強行されている。財政的に余裕のある現在、当時の負担増を見直すべきでは。

離農による耕作放棄地の対策は

町長 担い手や新規就農者の育成



さねふじ かずのり 實藤 量徳 議員

議員 大堰の特に三川地区では、人口減少による耕作放棄地の増加が考えられる。このような農地を他の産業振興で活性化させる考えはないか。

町長 三川地区は土地が肥沃で農業が一番適

町長 スマート農業の導入や高性能省力機械の導入支援、担い手の集積促進事業や新規就農者の育成支援などで、将来性のある経営ができるように検討したい。

議員 今後、高齢化や担い手不足による耕作放棄地が増加すると予測されるが、町としての対策は。

町長 大分道より南については、早期収に最大限協力する。大分道より北側については、

議員 山隈区を縦断する県道の上高橋野町線は幅が4m未満の部分があり、車両の離合が困難で朝夕通勤時には渋滞が発生している。事業の延伸・拡幅計画はどのようになっているか。

町長 早期買収に努め協議を進める

山隈内の県道の拡幅状況は

転入により入園希望者が増え、新たな待機児童の増加や、保育士不足が想定されるため難しい。



18年前の行革大綱。住民負担増が並ぶ

町長 当時の金銭面のみで効果を判断しており、値上げによる悪影響が考慮されていない。住民福祉の観点からも見直しを。

議員 ごみ袋料金などは、ごみ減量化や校区セクターの資源回収などの政策とあわせて検討したい。



肥沃な農地の活用は（三川）

町長 7月に町の機構改革を行い、農業に特

議員 就農者減少への対策は。制約からも、新しい産業の計画は難しいと考える。していると思う。法令上の



山隈区内の狭い道路

町長 市町村が県から受託して事業を進める

議員 県から受託して町が工事を実施することはできないか。町の事業として検討できないか。

部分拡幅ができるよう県と町できめ細やかに協議を重ねる。

町長 国の指示権が地方自治の本旨や対等な関係を損なうようなことがないよう、最小限度の範囲にとどめるべきと考える。

進にも利用される内容であり、反対の表明を。

議員 国会で審議中の地方自治法改定案は、非常に国が指示権を持つなど、地方自治を否定する重大な問題がある。戦争推

町長 指示権については最小限に

地方自治への攻撃に意見を

町長 電子決裁導入の検討、広報紙のデザイン、業務改善の4事業について、専門

議員 町が発表した複業人材登用とは。

町長 各分野の専門家と連携

複業人材登用による実証実験とは

化した課をつくり、これからの農業の振興を考えていきたい。目指すべき5年後、10年後の農地利用の姿を明確化する地域計画を本年度策定するため、全地区で第1回の話し合いを開催した。

議員のつぶやき 徹底した子育て支援は費用・経費ではなく未来への投資。できる限り早期に実現してほしい。



☆このほかに、新秋から接種予定の自己増殖型・新型コロナワクチンの補助の中止と、危険性の啓発について質問しました。

事例はなく、町の体制からも困難。地域の声をきめ細やかに聞いてどういった対応ができるかを検討する。

議員のつぶやき 20年前の行革プランを見て、その中身に改めてびっくり。住民福祉向上の立場に帰って見直すべきです。



町長 消滅可能性自治体の名称がひとり歩きすることは、自治体の努力に水を差すおそれがある。

議員 「消滅可能性自治体」という民間研究も、人口減の責任を地方に押し付ける暴論だと思いが。

議員のつぶやき 担い手不足などで耕作放棄地が増えないようにいろいろな対策を。



家から無償でアドバイスをいただき改善に努めるもの。期間は10月末までの半年間を予定している。

どうだった? 今回の議会

4月に新しく就任した議会モニターのみなさんと意見交換し、6月議会を傍聴しての感想など、活発な意見をいただきました。お寄せいただいたご意見をもとに、議会活動の改善に努めます。



議会だよりはさらに充実を

住民の方が多く出てくるようになり、読むのが楽しくなってきました。

いっぽう、専門用語などの難しい言葉も出てきます。一般住民にも理解できる表現を心がけてください。

議会から 行政用語を排して、分かりやすく親しみやすい紙面づくりに心がけますので、ぜひ取材などへのご協力をお願いします。

インターネット中継の改善を

インターネットで録画が早期に見れるようになったのはいいのですが、議案ごとにもくじをつけることや、議場で使っている資料が画面で見られるようにしてほしい。

議会から 今年度にホームページのリニューアルを予定しており、動画配信業者に対しても改善をお願いする予定です。

議会から

議会から

初めての参加です。全体懇談もいいですが、いくつかの班に分かれて少人数で議論したら話しやすいかもしれません。



田中さん (南本郷)



鈴木さん (山隈)

一般質問は、事前に通告内容を議会モニターや住民に知らせて意見をのべれば、議論がさらに充実するのではないのでしょうか。



小林さん (上高橋)

子育て支援や公共交通の充実に興味がありますが、せっかくの機会なのでそれ以外の分野も勉強したいと思っています。

検討ではなく、実現を

交通安全関係など、長年要望を出していますが、「検討します」「要望しています」ばかりで全然改善されません。議会も行政も、実現のための論戦をお願いしたいです。

議会から 道路や川を管轄する国や県に要望を出していますが、法律や予算の関係もあり事業が進まないことも多いです。今後も実現のためにがんばります。

住民に分かるような論戦を

議会のやりとりは回りくどい言い回しが多く、住民には要点が分かりづらいことが多いです。もっと直接的に論戦してもいいのでは。事業の効果なども明確な答弁を求めるべきだと思います。

議会から 追跡制度なども活用し、今後も住民目線での論戦を心がけます。

これまでではお願いごとばかりでしたが、自身も勉強しなければと思いモニターに応募しました。町のことももっと知りたいです。



平田さん (西大刀洗)

モニター2期目です。障がい者施設に勤務しており、大刀洗町でも障がい者に対する理解や対応が前進できればと願っています。



松川さん (富多)

初めてのモニター参加です。これまで興味のある質問は視聴していましたが、今後は広くアンテナを立てたいと思います。



矢永さん (富多)

3月定例会

一般質問で、町長が「検討する」と回答した内容について、質問者は次の定例会までに検討状況の報告を求めることができます。

3月議会の質問に対する町の回答をお知らせします。

どうなったあの質問



手話 通訳あります

本会議などに手話通訳者を配置できます。

お問い合わせ
議会事務局 TEL77-4112(FAXも同じ)



声の議会だよりお届けします

議会だよりの全文朗読をCDに収録して自宅にお届けします。

お問い合わせ
社会福祉協議会 TEL77-4877

議長通信



議長 高橋直也

今年で14回目の開催となりました。議会報告会にご参加いただき、ありがとうございます。4カ所の会場で参加者の皆さんと活発に意見交換ができて、多くの貴重なご意見をいただき、意義ある報告会となりました。これからも、議会の状況を皆さんにお伝えしながら、身近で開かれた議会になるよう努め、大刀洗町のまちづくりに皆さんの声を届けるために、議員一丸となって活動を進めます。

道の駅の検討を

(平田康雄議員)

問 町長マニフェストにある「道の駅」の推進は。

答 検討中

国や関係機関との調整ができておらず場所も未定。今後、国交省などとの協議が開されれば、農業者の意向を調査したい。

個別検診の導入やワクチン接種への助成を

(平田康雄議員)

問 ①大腸がん、前立腺がんの個別検診を。②4月から任意接種となるコロナワクチン接種に助成を。③带状疱疹ワクチン接種に助成を。

答 対応中

①7月からの個別検診に向け準備中。②自己負担は軽減する予定だが、補助額は自治体の状況を調査中。③朝倉市などが助成しており決算を踏まえて調査する。国・県へも助成を要望する。

建設経済委員会

ため池と水防計画を調査

5/14 今年度の水防計画や水害対応について建設課から説明を受けました。大雨の対応として、町職員によるパトロールの頻度を上げるなどしており、昨年度は、町職員と消防団が協力して床島地区に100袋ほどの土のうを積みあげたとの報告でした。議会からは、ダム放流の際は目的別にサイレンを鳴らしているが内容の聞き分けが難しく、防災ラジオやテレビのdボタンでの情報発信ができないかという意見が出されました。



大雨時に十分な機能発揮を

その後、下高橋区の中島ため池と今年度工事予定の甲条十三塚ため池を視察しました。中島ため池は2年に渡る浚せつで底が深くなり、以前に比べて貯水量が増加しているようで、今後の貯水効果が期待されます。

ココを生かす 昨年の反省を生かし、今年度は水草の除去と浚せつ工事を別々に実施することに。今後も防災・減災や農村環境整備などを含めて調査や提言を進めます。



古賀委員長

総務文教厚生委員会

三原城址を現地調査

4/8 建設委員会と合同で、本郷校区の佐々木家住宅と三原城址を調査しました。役場の担当課や「三原城址を守る会」の皆さんに案内していただきました。



文化財係の職員から説明を受ける

先日の3月定例会で、土地の買収費は否決（削除）しましたが、町としては今後も国や県などへ史跡申請を検討しているとの説明で、議会としても、家屋や土地の現状をよくつかみ、議会で議論することが必要と再認識しました。

5/27 ふるさと納税の現状は

ふるさと応援寄附金事業と、ブランド推進事業の説明を地域振興課より受けました。ふるさと応援寄附金は制度がいつまで続くのか判断できないため、将来的に維持管理費が負担になるような事業への活用については慎重に検討することが必要と考えます。

ココを生かす 地域ブランド事業についても説明を受けました。行政が主導する事業においては、出品や商品選定に関しては、公平性を確保する必要があるのではとの意見が出されました。



松本委員長

広報委員会

視察を受け入れました

5回の編集会議を開いての議会だよりの作成のほか、今年度リニューアルを予定している議会ホームページの充実・改善など、先進地の事例を研究しながら協議を進めています。

また、全国からの視察を受け入れ、広報活動や議会改革について活発に意見交換しています。



広川町議会のみなさんと

- 4/23 柳川市議会
- 4/24 岡垣町議会
- 5/13 広川町議会

正副議長研修会

地方議会のあり方を学ぶ

5/21 全国町村議会議長・副議長研修会が東京で開かれ、高橋議長と野瀬副議長が出席しました。テーマは3つで、①議員の成り手不足は「住民の危機」、その打開の道を探る②ハラスメントー自治体職員が注意すべきポイントー③将来の地方議会を担うのは誰か？

いずれも多くの町村議会が抱えている課題であり、当町議会としても研修会での内容を全議員で共有し活用を図ります。



自分たちの生活に関わることとして判断



西栗田 古賀 こが 奏さん かなで (18歳)

Q 最近の近況は？

A 短大でビジネス法学を専攻し、人のためになる仕事に就きたいと将来を模索しているところです。大学とアルバイトで大変な日々ですが、時間を見つけて友達と温泉や岩盤浴に行ったりリフレッシュするのが楽しみです。

Q 今後がんばりたいことは。

A 先日、駅で困っている外国の方がいたので声をかけてみると「太宰府天満宮へ行き方が分からない」とのことだったので、携帯を使って案内をしたらとても感謝されました。インバウンドが盛んになっているので、語学も学んで外国の方とも積極的にコミュニケーションをとりたいです。

Q 選挙権を得ましたが政治への関心は。

A 政治にはあまりいい印象はありませんが、これからの自分たちの生活に関わることなので関心は高まっています。あらゆる情報が飛び交っている中で、自分なりに正しく判断していきたいです。

Q 大刀洗町へ一言。

A のどかで人が良い町と思います。幼いころから学校の帰り道で近所の方に声をかけてもらったり、お菓子や野菜をいただいたり、人の温かみに触れる機会が多かったため、私も大人になって同じことを子どもたちにしてあげたいです。いつぼつで街灯が少なく夜道が怖いところもあるので、だれでも安心して暮らせる温かい町づくりを期待しています。

なにげないことも幸せに感じる事ができる素晴らしい方でした。いつまでも町を大切に思い続けていただきたいです。



聞き手から (中村)

インターネット配信やっています



ここをクリック

パソコンやタブレット、スマートフォンからもご覧いただけます

次回定例会の予定

9月5日(木)～20日(金)

一般質問

9月17日(火)、18日(水)

お問い合わせ ☎77-4112(議会事務局)

議会 Facebookも更新中

QRコードからアクセス



編集後記

議会報告会では300を超えてのご意見をいただきました。文字数やページの制限があり、ご意見の一部しか載せられないことが残念でしたが、編集には頭を痛めました。

今後も町民の皆さんの生の声を町政に反映できるように紙面づくり、議会活動に尽力します。

(白根)

- 広報委員長 平山賢治
- 副委員長 大石純
- 委員 中村竜博
- 委員 平田康雄
- 委員 白根美穂